

事業番号	09 04 26	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	凍結精液生産事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3	夢に挑戦する農業		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
		2	自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	S50 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	<p>○県有種雄牛「栄寿」を中心とした優秀な精液を活用し、高品質で市場性の高い子牛生産や優秀な繁殖雌牛群へ転換が進んでいる。</p> <p>○こだわりの純粋豚や品質の高い三元交配豚を作出するために、希少価値のある純粋豚の維持と精液の配布が拡大している。</p>						
現状（予算編成時）	<p>○県有種雄牛「栄寿」は、平成24年度全国和牛能力共進会で、安定した成績を残した。</p> <p>○和牛4頭の精液を活用して信州産の肉用牛生産を進めるとともに、希少価値のある純粋豚の供給を進め畜産農家のニーズに応える。</p> <p>○精液等で新たな血統を入れながら、養豚農家が利用しやすい種豚を維持していく必要が増している。</p>						
県が関与する理由	<p>県関与の必要性あり</p> <p>県民との協働による実施： 実施中</p>	<p>【左記の説明、根拠法令等】</p> <p>県が保有する種畜は知的財産として県が管理と精液採取、凍結調製、保管及び供給等を行う必要がある。</p>					
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)						
	<p>○県産の優良肉用牛を生産するための牛凍結精液2,800本の生産保管と供給</p> <p>○県産の優良肉豚生産と、希少価値のある純粋豚の生産維持のための豚精液1,800本の生産と供給</p>						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H27事業実績		H27		H28
				(当初)	(決算)	(当初)	
	・牛凍結精液生産配布	直接	・種畜を飼養するための飼養・衛生管理 ・精液性状の確認と凍結精液の生産、保管、販売	2,904	2,632	2,883	
	・豚液状精液生産配布	直接	・種畜を飼養するための飼料・衛生管理 ・生産される精液性状の確認と液状精液の生産、販売	2,466	2,466	2,404	
			合計	5,370	5,098	5,287	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	5,059	5,280	5,370	5,287
	補正予算	-513			
	合計(A)	4,546	5,280	5,370	5,287
	Aの財源				
	一般財源				
	県債				
	国庫支出金				
	その他	4,546	5,280	5,370	5,287
決算額(B)	4,487	4,972	5,098		
概算人件費					
職員数(人)	5.55	5.55	5.55	5.55	
概算人件費(C)	45,832	45,832	45,932	45,932	
概算事業費(B(A)+C)	50,319	50,804	51,030	51,219	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
牛凍結精液の供給	1,743本	2,800本	1,507本	未達成	2,800本
豚液状精液の供給	1,688本	1,800本	1,919本	達成	1,800本

目標に対する成果の状況	<p>・乳用牛農家を中心に利用が進んだが、全国的に流通している凍結精液の需要が高まり目標達成には至らなかった。</p> <p>・豚液状精液については、供給計画を上回る供給ができ、こだわりの純粋豚や品質の高い豚の作出に係る大規模養豚農家等に利用してもらうことができた。</p>
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>・牛凍結精液の供給については、乳用牛農家等での利用をさらに推進する。</p> <p>・豚液状精液の供給については、引き続き養豚農家のニーズに応えるべく、純粋豚の維持と精液の供給を進める。</p>
--------------------	---